

日伊の100社超が出席 エコ国際展きょう開幕

最新環境技術など一堂に

第六回エコプロダクツ国際展(主催・国際機関AP OIIアジア生産性機構、インドネシア商工会議所IIカ デイン、インドネシア生産性本部)が四日、中央ジャカルタのジャカルタ・コンベンション・センター(JCC)で開幕する。会期は七日までの四日間。

日本とインドネシアの企業・機関を中心に百社・団体を超える出展者が、温暖化防止策など環境関連の技術や活動を紹介する場となり、四日午前には、開幕式

が行われる。当初、ユドヨノ大統領が出席する予定だったが、急きよ、欠席することが決まった。

四、五日には、環境問題への対応などについて話し合う国際会議も行われ、四日午後には、エコプロダクツ国際展準備委員会委員長を務めた北山禎介APO緑の生産性諮問委員会会長(三井住友銀行会長)のあいさつを皮切りに、日本の小林光・環境省事務次官や環境担当国務相事務所のマズネリヤルティ次官らがプ

レゼンテーションを行う。期間中には、「リデュース(ごみをなるべく出さない)、リユース(再利用)、リサイクル(再生利用)」の3R活動普及や環境保護のメッセージを盛り込んだ4Dアニメ(鑑賞料二万ルピア)など、環境関連イベントも予定されており、ジャカルタの市民の環境意識向上も目指している。

主催者側は期間中に十万人の入場者を目標としている。

入場無料。開場時間は午

前十時―午後九時(初日は正午開場、七日は午前九時―午後八時)。

詳細はウェブサイト(www.epif10.org)で確認できる。

